

## 協働実践研究会 KL (Kuala Lumpur クアラルンプール) 活動報告

2012年10月6日(土) マレーシア・クアラルンプール(以後 KL) 支部を立ち上げました。現在賛同者は10名です。

この日は、第9回マレーシア日本語教育研究発表会・浦和研修報告会(6日・7日)の初日でした。

本支部立ち上げの契機を報告します。上記第1回の研究発表会から第9回までの発表と複数の大学の紀要を調べたところ、日本語教育領域では、マレーシアにおいて以下のキーワードにかかる研究発表、論文は3件しかありませんでした。

【キーワード】

- 1) 協働、ピア・レスポンス、ピア・レビュー、ピア・ラーニング
- 2) アクションリサーチ、教師の学び、内省
- 3) インターアクション、グループ学習、共同、ピア活動

これは、「協働」に関わる研究が行われていないということだけでなく、教師間で協働実践研究、協働的学習が行われていないことも意味すると考えます。そこで、協働実践研究、協働的学習の必要性を感じ、マレーシア KL にて協働実践研究会 KL を立ち上げるに至りました。

また、同10月6日のマレーシア日本語教育研究発表会ポスター発表「教師の協働的学習の可能性を探る ∞日本語教師がつながる場の構築を目指して∞」(木村かおり:2012:22)が、マレーシアにおける4本目の「協働」をキーワードとした発表となりました。

本支部は、当面研究発表に特化せず、勉強会や会員の交流を大事にする会として、活動していこうと考えています。



【中国寺院より KL タワーとペトロナスツインタワーを望む】

文責：木村かおり(マラヤ大学言語学部講師)